

株式会社エル・ローズ

(1) 事業所の概要

○所在地：福井市三郎丸四丁目200番地

○創業：1979年7月

○代表者名：福田 忠義

○業種：卸売業

○従業員数：110名

○事業内容：衣料品（インナーウェア等）、健康食品、美容品等の企画・製造・販売

(2) 事業所で取り組んでいる健康づくり

【取組みの目標】

当社では「社員がいきいきと働いてこそ持続的な成長につながる」との考えから、SDGs「働き方改革を推進しよう」の活動の一環として、働きがいのある職場環境を目指し、さまざまな取組みをしています。社員一人ひとりが「健康経営」を意識し、社内の生産性向上に努めていることはもちろんのこと、企業におけるリスクマネジメントとしても重要視しており、積極的な活動を行います。

【取組みの内容】

〈必須事項〉

⑤ 食生活の改善に向けた取組み

- ・社内インターネットツールによる健康をテーマにした情報提供の実施(月1回以上)
- ・各事業所へ食習慣改善等に関するポスターの掲示(3カ所)

〈以下選択項目〉

① 定期健康診断受診率

- ・定期健康診断の受診率100%(費用は全額会社が負担)
- ・産休育休者にも積極的に声かけをして受診勧奨の実施

④ 健康課題に基づいた具体的な目標の設定

- ・社員の運動不足解消を目的としたスポーツレクリエーションの実施
※今年度は1回実施した(9月のふくいスニーカーウォーキング大会に参加)。次年度は、計3回実施することを目標設定とする

⑥ 保健指導の実施

- ・全社員に産業医問診の実施(定期健康診断の結果に応じて産業医より保健指導の実施)

⑦ 運動機会の増進に向けた取組みの実施

- ・社内にフィットネスルーム(各種トレーニングマシン、血圧計、体重計等の設置)を完備し、全社員が適宜利用することができる
- ・業務の特性に応じた昇降デスクの配置
- ・当グループのスポーツクラブの利用率一部補助
- ・当グループの芝政ワールドで開催されるスポーツイベント(マラソン、ヨガ、フラダンス等)の参加料の全額補助又は一部補助【参考】今年度の当該イベントはコロナ禍により中止

⑧ 女性の健康保持・増進に向けた取組み

- ・女性特有の不調緩和の取組みとして、オーガニックコットンを使用した肌にやさしく保温性の高いサニタリー用品を常時配置(実利用数2,861個)※2021年11月30日時点

⑨ メンタルヘルス不調者への対応

- ・年1回全社員を対象としたストレスチェックの結果をもとに産業医より声かけの実施

⑩ 感染症対策

- ・消毒液、マスク、高度非接触型検温器を全事業所に配置
- ・二酸化炭素等検知器を「密」が疑われる箇所(会議室等)の全7カ所に設置
- ・福井県が発信する「県民行動指針」「新しい生活様式」の実践について社内周知
- ・当社独自の感染症対応リストの作成と周知(2020年2月に初版発行し、その後状況に応じて改訂と社内周知の徹底)※現在計8回の改訂

⑪ 喫煙率低下に向けた取組み

- ・全3事業所のうち1事業所(本社事業所)の喫煙所を撤廃
- ・禁煙ポスターの掲示(3カ所)
- ・喫煙に関する社内アンケートの実施(回答結果はフィードバック済)※2021年5月実施

〈その他〉

- ・新社屋の「グラン・ゲート」では、全熱交換機を導入して室内を常に適温・適湿を維持(感染症対策だけでなくドライアイや肌荒れ防止効果もあり)しながら、エコに且つ効率的に常時換気も行う。全てのトイレの洗面台はタッチレス仕様となっており衛生面も考慮。自動で照明を管理するDALIシステムにより適度な明るさと十分なスペースを確保したデスク周りで作業効率の向上。
- ・全事業所に観葉植物や絵画を多く設置して職場の緑視率などを高め、ストレス軽減や疲労回復効果によりパフォーマンスの向上とメンタル面のフォローも充実。
- ・当社は年間休日数が他社と比較して多く、リフレッシュやストレス発散の機会が確保でき、充実した休日を通うことができる。2019年の年間休日総数1企業平均109.9日(「厚生労働省の令和2年就業条件総合調査の概況」より引用)に対して、当社の年間休日数は次の通り。
※2019年度:125日、2020年度:124日、2021年度:126日

【取組みによる成果】

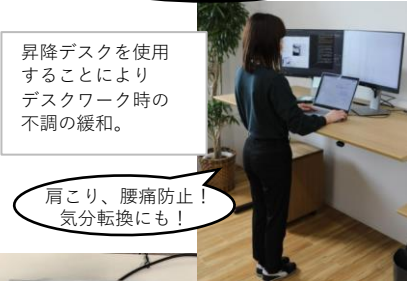
- ・喫煙率12%(2021年5月時点)のうち45%が禁煙希望者
- ・充実した職場環境で勤務することにより、日々のモチベーションと生産性の向上(新社屋「グラン・ゲート」が稼働して1年後のアンケート調査結果による)※2021年12月実施
- ・生活習慣病予防を目的とした社員個人による日常生活の中での取組み(適度な運動、バランスの取れた食生活、禁煙等)の実践増加(2022年4月以降にアンケートによる調査を予定)
- ・さまざまな感染症対策を行っている新社屋「グラン・ゲート」の本格稼働により、子供たちへの安心できる教育の場の提供(社会科見学の実施)
※2020年度:0件 → 2021年度:5件
※さらにこの活動により、仕事への自信と誇りと責任感を得ることができている。
- ・サニタリー用品の常時配置により、私物バッグ等からの持ち出し時のストレスがなくなった。また緊急時にも助かっている等の声も複数あり、生理時のストレス緩和につながった(女性社員を対象としたサニタリー用品についてのアンケート調査結果による)※2021年9月実施

社内フィットネスルームには、ヨガマットやストレッチポール、レッスン用の大型スクリーン、卓球台もある。



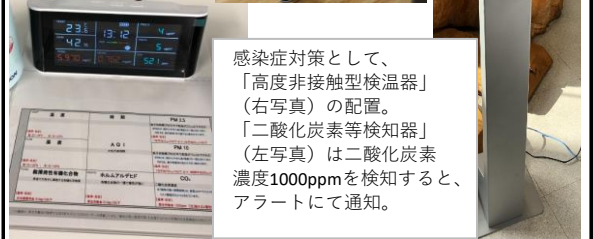
ヨガマットと大型スクリーンを使用したレッスンの様子

ストレス発散にも!



昇降デスクを使用することによりデスクワーク時の不調の緩和。

肩こり、腰痛防止! 気分転換にも!



感染症対策として、「高度非接触型検温器」(右写真)の配置。「二酸化炭素等検知器」(左写真)は二酸化炭素濃度1000ppmを検知すると、アラートにて通知。

(3) 今後の健康づくりの取組み

【今後の目指す姿】

さまざまな取組みに関する改善項目が見える化(数値化)し、社員の健康意識の向上と職場の活性化(情報提供や運動機会増進に伴う健康診断結果の数値改善、歩数の増加など)

【重点的に取り組む内容】

コロナ禍においても安心安全に業務に取り組んでもらえるように感染対策の徹底を行う。またあわせて心身ともに美しく健康な状態を保ち続けられるようにリフレッシュできる空間づくり、運動習慣や食習慣の啓蒙活動を実践する(専門講師による健康セミナーなど)